



年度はじめのご挨拶

校長 山口 浩二

立山連邦の気高い光が校長室に差し込んできます。本年度も伝統ある新庄小学校の校長を務めます。どうぞよろしく願いいたします。

さて、3月の卒業式では、在校生と卒業生で共に歌った合唱のハーモニーがとても美しく、子どもたちも会場の参列者も共に感動を味わいました。数日後の離任式では、担任の先生との別れに花束担当の1年生児童が思わず泣き出しましたが、なんとか花束を手渡して役目を果たそうとする姿を全校の皆で見守りました。「学校は社会の入り口」と言われますが、このように人間らしい心を享受し合えたこと、その感動の時間を共に過ごせたこと、それがとても価値あることと思えるのです。

将来、社会に出る子どもたちのためにも、学校は自他の違いを認め合いながら互いに協力し合おうとする「自律と共生」の精神を養う場でありたいと考えています。本年度も、次のとおり教育目標を掲げ、その実現に向けて各種教育活動を推進してまいります。

1 学校の教育目標

主体的・対話的に暮らしをよりよくしていこうとする子どもの育成

主体的とは、自分から始めるということです。対話的とは、他者との対話だけでなく、あらゆる対象との対話、自己内対話等も含んでいます。暮らしをよりよくするとは、自分をよりよくしようとすると同時に、自分の周りの社会も共によりよくしようとするということです。

2 目指す子どもの姿

「思いやりいっぱい」「学びいっぱい」「元気いっぱい」の子ども

本校が大切にしてきた3つの言葉です。善いと思ったことに進んで取り組むことのできる子ども、自分の学びや体づくりに思いっきりチャレンジする子どもを目指します。加えて子どもたちには「徳」「知」「体」のバランスも意識して伸びようとする姿も期待しています。もちろん、共に学び合う人間として、教職員も3つの「いっぱい」を心がけるようにしていきます。

3 本年度大切にしたい5つのこと

- 1 自分もまわりも大切にする
- 2 自由と責任を考えてくらす
- 3 学びのサイクルを意識する
- 4 心をひらき「問い」と向き合う
- 5 健康な体づくりを心がける



この5つは、教職員も子どもたちも共に学び合い、よりよい暮らしを実現するための視点です。一人一人の子どもたちをかけがえのない存在として大切にしたい学校であるためにも、保護者や地域の皆様方とも対話を心がけながら教育を推進してまいります。昨年度に引き続き、本年度も本校へのご理解とご協力をよろしく願いいたします。